JA金農ちば

営農情報集

2023.

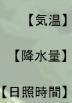
5

【今月の情報】

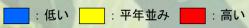
- 1. 水稲 本田殺虫剤と中後期除草剤の使用上のポイント
- 2. 園芸野菜 病害虫防除情報
- 3. 果樹 (ナシ) 病害虫防除情報
- 4. ハダニピークを作らないイチゴ栽培のポイント
- 5. 安全な農作物生産の取り組みについて
 - ~異物混入防止~

今月の気象(気象庁5/4発表 1か月予報より)

5月は、気温、日照時間は平年並みですが、降水量は平年並みか多くなる予報となっています。病害の発生に注意し、施設栽培では、過湿になりすぎないよう栽培管理に努めましょう。







注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

水稲 本田殺虫剤と中後期除草剤の使用上のポイント

J A全農ちば 営農支援部

1. 初期害虫の生態および防除対策

初期害虫対策のため箱施薬剤を使用した場合でも害虫の発生量が多いと防除しきれないことがあります。食害が多い場合は本田防除剤による追加防除を行いましょう。

(1) 初期害虫の特徴

①イネミズゾウムシ

体長3~4mm。年1回発生。 例年では4月下旬頃から飛来開始。 成虫は葉脈にそって細長く食害する。 幼虫は根を食害し、初期生育を抑制する。



イネミズゾウムシ

②イネドロオイムシ

体長 5 mm。年 1 回発生。 成虫で越冬し、5 月以降飛来する。 成虫、幼虫ともに葉を食害するが、幼虫による被害が大きい。



イネドロオイムシ (成虫)



イネドロオイムシ (幼虫)

(2) 本田防除対策について

①成虫 (イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ) を中心とした防除対策 5月中~下旬に合成ピレスロイド系薬剤(水面施用剤)を散布する。

トレボン粒剤 2~3kg/10a

②幼虫(イネドロオイムシ)を中心とした防除対策

※幼虫による食害が見られ始めたら「粉剤」に切り替えて散布する。

・トレボン粉剤 DL (3~4 kg/10a)、スタークル粉剤 DL (3 kg/10a)

2. 取り残しの水田雑草対策

中後期除草剤は残った雑草によって効果的な薬剤が異なるので、選択を間違えないよう注意しましょう。

(1) /ビエ及び広葉雑草などが残った水田

- レブラス1キロ粒剤・ジャンボ
 - ア. 使用時期:移植後14日~ノビエ4葉期ただし、収穫60日前まで
 - イ. 使用方法: 湛水散布。ジャンボ剤は水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。
 - ウ. 使用薬量:1キロ粒剤 1kg/10a

ジャンボ剤 小包装 (パック) 10個(400g)/10a

- エ. 特 徴: ノビエのほかコナギ、ホタルイ、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラなど 広範囲に効果を示す。
- クリンチャーバスME液剤
 - ア. 使用時期:移植後15日~ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで
 - イ. 使用方法:落水散布または、ごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水しない。
 - ウ. 使用薬量:1000 ml/10a
 - 工. 散布水量:1000/10a (100 倍液)
- オ. 特 徴: ノビエに効果がある「クリンチャー剤」と広葉雑草に効果を示す「バサグラン剤」との混合剤。
- ・アトトリ1キロ粒剤・豆つぶ250
 - ア. 使用時期:移植後14日(稲5葉期以降)~ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで
 - イ. 使用方法: 湛水散布
 - ウ. 使用薬量:1キロ粒剤 1kg/10a

豆つぶ剤 250g/10a

エ. 特 徴:コウキヤガラ、オモダカなどの多年生雑草に対する効果高い。

ノビエも対象にする場合は、葉齢に注意し散布する。

(2) /ビエのみ残った水田

- クリンチャー1 キロ粒剤
 - ア. 使用時期:移植後7日~ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで
 - イ. 使用方法: 湛水散布
 - ウ. 使用薬量:1 kg/10a
 - エ.特 徴:ノビエに効果を発揮。

(3) 広葉雑草のみ残った水田

- ・バサグラン粒剤・液剤
 - ア. 使用時期:移植後15~55日 但し、収穫60日前まで(液剤は収穫50日前まで)
 - イ. 使用方法:落水散布または、ごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水しない。
 - ウ. 使用薬量: 粒剤: 3~4 kg/10a
 - 液剤:薬量 500~700m 1 · 水量 70~1000/10 a
 - エ.特 徴:対象草種は広葉雑草のみ。液剤はしっかりと茎葉散布処理をする。

園芸野菜 病害虫防除情報

JA全農ちば 営農支援部

1. はじめに

4月も、3月から引き続き気温が高くなりました。5月は気温は平年並み、降水量は多い予報となっていますので、圃場では病害虫ともにも発生しやすい状況になります。秋冬ネギやサツマイモは栽培開始の重要な時期です、初期防除を徹底して実施しましょう。

2. ネギ 〔定植準備: 育苗トレイ〕

ネギでは、ペーパーポット等の育苗トレイ苗に対して灌注処理登録をもつ農薬が年々増えており、初期害虫に加えて黒腐菌核病の対策も可能になっています。また、土壌消毒(ガスタード・キルパー等)、圃場 pH 値と排水性の改善、圃場での生育期防除を組み合わせることでより高い防除効果を期待することができます。

灌注処理剤は根から成分が吸収されて効果を発揮します。定植後からの効果を期待する場合は、使用時期が「育苗期後半~定植当日」の薬剤は、定植直前の処理ではなく定植およそ3日前~前日の処理がより効果的です。

○初期害虫 防除薬剤(灌注)

対象害虫	IRAC		使用量		使用
<u>**1</u>	コート゛		※ 2		回数
アサ、ミウマ類	4A	スタークル顆粒水溶剤	50 倍	定植前日~定植時	1回
ハモク゛リハ゛ェ類	28	ベリマークSC	400倍	育苗期後半~定植当日	1回
タネバエ	4A+28	ジュリボフロアブル※1	200 倍	育苗期後半~定植当日	1回



アザミウマの被害



ハモグリバエの被害



ハモグリバエ成虫

○黒腐菌核病 防除薬剤(灌注)

対象病害	FRAC コート	薬剤名	使用量 ※ 2	使用時期	使用 回数
黒腐菌核病	7	パレード 20 フロアブル	100 倍	育苗期後半~定植当日	1回

- ※1 ジュリボフロアブルの対象害虫はネギアザミウマ、ネギハモグリバエ、タネバエ
- **※2** 散布水量は、セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1 冊(約 30×60 cm、使用土壌 約 $1.5\sim4$ L) あたり 0.5L

3. サツマイモ 〔定植準備〕

(1) 病害対策

【つる割病】

土壌伝染性病害で苗の切り口や土中の茎、根部から感染します。株全体が萎れ、葉は黄~黒褐色になり落葉します。茎の地際部が縦に割れることが特徴です。クロルピクリン剤やガスタード微粒剤等の土壌消毒と併せて下記の苗消毒処理を実施しましょう。

【基腐病】

一昨年、サツマイモ基腐病の発生が千葉県内で初めて確認されました。基腐病は、一度被害が発生してしまうと防除が非常に困難であるため、病原菌の圃場への侵入を未然に防ぐ、「持ち込まない」事が重要です。徹底した防除を実施しましょう。

本病の早期発見および感染拡大の防止を図るため、万が一疑義株を発見した際には、速やかに最寄りの農業事務所までご連絡をお願いいたします。

○サツマイモ 定植苗防除薬剤

対象病害虫	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
つる割病 黒斑病 基腐病※	ベンレート水和剤	500~1000 倍 20~30 分間苗基部浸漬	I-I-7 I N/.	
	ベンレート T 水和剤 20	200 倍 30 分間さし苗基部浸漬	· 植付前	1回

※基腐病:30分間苗浸漬

(2) 害虫対策

センチュウ類やコガネムシ類、ハリガネムシ類に対して、下記の粒剤による初期防除を行いましょう。後作のためにもD-D等による土壌消毒と併せた徹底した防除を行いましょう。

○サツマイモ ネコブセンチュウ防除薬剤

対象害虫	IRAC コート	薬剤名	使用量 /10a	使用 時期	使用方法	使用 回数
ネコフ゛ センチュウ	1B	ネマトリンエース粒剤	15~20kg		作条土壤混和	1回
		イマトリンエーハ松川	10~30kg	植付前	全面土壌混和	
		ネマキック粒剤	$15\sim50\mathrm{kg}$	们担门门 月1	全面土壤混和	1回
	(F:7)	ビーラム粒剤	20kg		全面土壌混和	1回

○サツマイモ コガネムシ・ハリガネムシ防除薬剤

対象害虫	IRAC	 薬剤名	使用量	使用	使用方法	使用
* 1	コート゛	ボ カアロ	/10a	時期	区/11/2714	回数
コガネムシ類	4.4	アドマイヤー1 粒剤	6kg	_	作条又は	1回
コルートロン実具	4A	ダントツ粒剤	$6\sim9\mathrm{kg}$	植付前	全面土壌混和 -	1回
コガネムシ類	3A	フォース粒剤※1	9kg	_	土山上塚此和	1回
ハリカ゛ネムシ類	2B	プリンスベイト※2	6kg	植付時	植溝土壌混和	1回

※1フォース粒剤の対象害虫はコガネムシ類幼虫、ハリガネムシ類

※2 プリンスベイト: コガネムシ類対象の場合、植付前・全面土壌混和登録あり

果樹(ナシ)病害虫防除情報

J A全農ちば 営農支援部

1. はじめに

本年は気温が高く推移し続けており、平年に比べ生育が非常に早まっています。それに伴い、 防除のスケジュールも前倒しとなっていますので、臨機の追加防除について、圃場の様子をよく 確認し、また下記を参考にしながら効果的な対策を実施しましょう。

2. 黑星病対策





【基幹防除】黒星病・心腐れ症・疫病などの総合予防

5月上旬 : ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000 倍(前日/3回以内) + トレノックスフロアブル 500 倍(30日前/5回以内)

5月中旬①: ベルクートフロアブル 1.500 倍 (14 日前/5 回以内)

5月中旬② <下記ポイント(2)参照>

5月下旬 : キノンドーフロアブル 1,000 倍 (3 日前/9 回以内)

●ポイント

- (1) 病斑の除去 果柄部や葉軸に黒星病の発生が見られる場合は摘果作業等と合わせて除去しましょう。
- (2) 黒星病の臨機防除や、前進化した防除タイミングを戻すため追加防除を行う場合 ユニックス顆粒水和剤 47 とベルクートフロアブルによる追加防除を実施しましょう。 ユニックスは有機リン系殺虫剤(サイアノックス等)との混用は避けましょう。
- (3) 防除効果を安定させるには散布水量も重要です。250ℓ/10a を目安に様々な向きから 農薬がかかるよう散布しましょう。特に降雨前や発生中の病害対策のため必要です。

3. アプラムシ類、ハマキムシ類、ニセナシサビダニ類

5月以降、アブラムシ類・チョウ目害虫・ニセナシサビダニが発生します。特にアブラムシ類・ ニセナシサビダニは新梢・新葉をよく観察し、防除を行いましょう。

複数種の害虫防除では基幹防除(防除暦)を参考としますが、それぞれの臨機防除が必要な場合は下枠内をご確認ください。



アブラムシ類被害



ニセナシサビダニ被害

【基幹防除】アブラムシ類・ハマキムシ類・その他害虫防除

5月上旬 サイアノックス水和剤 1.000 倍 (無袋 45 日前・有袋 7 日前/3 回以内)

5月中旬 コテツフロアブル 2,000 倍(前日/3回以内)

[臨機防除] アブラムシ類、シンクイムシ類の発生が見られる場合。

マブリック水和剤 20 2,000 倍(30 日前/2 回以内)

[注意点] コテツ・マブリック共に浸透移行性が無いため、既に葉が巻いてしま うと効果が発揮しにくい。その場合は下記の臨機防除対策を参照。

5月下旬 モスピラン顆粒水溶剤 2,000 倍(前日/3回以内)

※新高、長十郎等の場合→ダントツ水溶剤 2,000 倍(前日/3 回以内)もしくは アクタラ顆粒水溶剤 2,000 倍(前日/3 回以内)のいずれかを散布

●アブラムシ類臨機防除

アブラムシ類の発生が続き、臨機防除が必要な場合はウララDF(2,000 倍/14 日前/2 回以内)またはトランスフォームフロアブル(2,000 倍/ 前日/3 回以内)を選択しましょう。ただし、どちらもこの時期の対象害虫としてはアブラムシ類のみなので注意。

●チョウ目害虫の臨機防除

基幹防除のサイアノックス・コテツ・モスピランがチョウ目害虫防除を兼ねますが、発生が多い場合は、 サムコルフロアブル 10 5,000 倍(前日/3 回以内)の追加防除を実施しましょう。ただしチョウ目害虫のみが対象なので注意。

ハダニピークを作らないイチゴ栽培のポイント ~全農ハダニ゛ゼロ゛プロジェクト!~

今回は 育苗期防除編です!

*2020年に天敵資材を柱とした防除プロジェクトをスタート *イチゴハダニゼロプロジェクトには7社が協力参加



ハダニ類防除の成功には...

	育	並期間	中か	ら本値	初期	CC*	lieit.	ハタニ	- 密度	をよく		できるポイン		す 。
育苗期のハダニ類防除プログラム 苗・切離														
4月			5月			6月 7月 8				8月	月			
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
		*5月上 ・アグリ ・500f +気門動	lメック B		*6月上旬 ・サフオイル乳剤 ・300倍 +展着剤 *6月下旬 ・グレーシア乳剤 ・2000倍 +気門封鎖剤			* 7月下旬 ・サフオイル乳剤 ・300倍 + 展着剤			*8月上旬 ・アグリメック ・500倍 +気門封鎖剤			
	* 天敵製剤:・ミヤコバンカー ・親株3株に1個 設置 ・4/下旬~5/下旬													
	株元に設置	* /					るため、育苗 ノーシアに引							
	切!	*	炭疽病苗	を本圃	こ持ち込	まない	う育苗期	間中は	徹底して	防除を行	テってくだ	さい。		

薬剤防除でのポイントはここ!

使用液量

*適切な使用液量を散布する。→子苗6000株(10a分の苗)あたい100リットルの使用液量を推 奨、散布圧は、1.0~1.5MPaを設定します。

殺ダニ剤に加用する 気門封鎖剤の例

- * 殺ダニ剤(アグリメック、グレーシア乳剤、ダニオーテフロアプル)を散布するときには、 気門封鎖剤(例:ピタイチ、フーモン)を加用する。
- * 加用することで相乗効果の事例も確認しています。 展着剤を使用する必要はあいません。

気門封鎖剤に加用 する展着剤の例

- * 気門封鎖剤(サフオイル乳剤)に伸展性の高い展着剤「まくぴか」等を加用すると均一に広がる ので乾きやすくなり薬害のリスクを軽減します。
- →育苗期では晴天日の夕方、本圃では午前中に散布することが大切です。



本資料内容は2023年3月、JA全農 耕種資材部農薬課作成 "イチゴハダニゼロプロジェクト"冊子より抜粋編集

安全な農作物生産の取り組みについて ~異物混入防止~

JA全農ちば 営農支援部

1. はじめに

昨今の消費者の食の安全・安心への関心は非常に高く、新型コロナウイルスの拡大によってその傾向はさらに強まったと考えられます。これらに対するリスク管理が求められる中、農作物の食の安全安心のリスクのひとつとして「異物混入」が挙げられます。異物混入は発生頻度の高い事案でもありますので、収穫や出荷場面において未然防止に努めましょう。

2. 異物混入を防ぐために!

(1) ハサミや包丁など収穫・出荷時に使用する道具の混入に注意しましょう



使用する道具の片付ける場所を決めましょう



器具類には番号・色付けをしましょう

(2) 虫やタバコ・ペットの毛・ペンなどが出荷物に入り込まないようにしましょう 異物混入の中では「虫」・「タバコ」の混入事例が多くなっています!!

虫を作業場に入 れないように網 戸などで防ぎま しょう



スマホの混入事例も増加中です ポケットはチャック付を 選びましょう



作業場での飲食・喫煙は避けましょう 場所を分けることができない場合は、「作業時間」と「休憩時間」 など時間で区切り、都度片付けましょう



(3) 出荷用の資材は清潔に保ちましょう

出荷用の段ボールなどにはカバーをかけてホコリが被らないように しましょう。また、汚れてしまった資材の使用は避けましょう。



異物混入は気づかないところで発生してしまうことが多いです。 「入れない」ための予防を行いましょう!